

## 資料

---

- 1 当事者アンケート質問用紙
- 2 当事者アンケート集計結果
- 3 2012年内閣府男女共同参画局「配偶者からの暴力に関するデータ」
- 4 弁護士会による裁判所への申入書  
(弁護士会・裁判所の名称は公表しない)。
- 5 保護命令 ケーススタディ 決定書等
- 6 刑事事件 ケーススタディ 判決

## 当事者アンケート質問用紙

### DV防止法保護命令制度に関するアンケート

このアンケートは、DV防止法の改正に向けた活動の一環として、DVを経験した女性を対象にして、国際人権NGO ヒューマン・ライツ・ナウとNPO 法人全国女性シェルターネットの共催で行う調査です。アンケートの結果はすべて統計上処理されますので、あなたの個人情報外部に漏れることは絶対にありません。ご協力をお願い致します。

以下の質問に該当する①・②の番号に○をつけるか、回答欄にご記入ください。

問1 あなたは保護命令申立てをしましたか。

- ①申立てた
- ②申立てなかった（問5にすすんでください）

問2 保護命令を申立てた方にお伺いします。申立ての結果はどうでしたか。

- ①全部について認められた
- ②全部について決定で却下された（認められなかった）
- ③全部について裁判所から「このままでは却下される」と取下げを勧められたので取下げた
- ④一部は認められたけれど、一部は却下または取下げた

→却下又は取り下げた一部はどの部分ですか。

i 接近禁止命令

→誰に対する命令ですか。 自分 ・ 子 ・ それ以外

ii 退去命令

問3 保護命令の決定や、その間の裁判所とのやりとりで、下記のような問題を感じたことはありますか。（複数回答可）

- ①これまでの暴力の程度が弱い、又は、それは暴力ではないと過小評価された
- ②証拠が不十分であると指摘された
- ③将来また暴力を受けるおそれ（加害者の危険性）を過小評価された
- ④被害者であるあなたにも落ち度があると指摘された
- ⑤裁判官はDVに対する理解が足りないと感じた
- ⑥判断までに時間がかかりすぎる

⑦その他、問題に感じたことを自由にご記入ください

(最後の問10に進んでください。)

問4 申立てをしなかった方にお伺いします。申立てなかった理由はなんですか。もっとも当てはまるもの1つに○をしてください。

- ①身体的暴力がなかったから
- ②しなくてよいと思ったから
- ③何も証拠がなかったから
- ④やっても無理だと言われたから

→誰から言われましたか?○で囲ってください

支援者・弁護士・警察・家族や知人・その他( )

- ⑤相手を刺激したくなかったから
- ⑥加害者が配偶者でないので、対象にならないから(次の質問へ)
- ⑦上記以外の理由の方、下記に簡潔に理由を書いてください

問5 問4-⑥加害者が配偶者ではなかったという方に伺います。加害者とあなたはどのような関係ですか。

- ①交際相手
- ②親・子・きょうだい・など、親族
- ③知人・友人
- ④特に面識はない人物

問6 あなたは加害者をストーカーとして警察に相談しましたか。

- ①相談した
- ②相談しなかった(問8へ進んでください)

問7 問6-①警察に相談した方に伺います。その結果はどうになりましたか。(複数回答可)

- ①警察から加害者に口頭で注意してもらった
- ②警察から加害者に文書で警告してもらった
- ③禁止命令が発令された
- ④パトロールが強化された

⑤他の機関を紹介してもらった

→それはどこですか？ ( )

⑥相談のみで特になにもせずに終わった

(問10へ進んでください)

問8 問6-②相談しなかった方に伺います。その理由はなんですか。

①ストーカーということを思い付かなかったから

②どこに相談すれば良いか分からなかったから

③相談しても無駄と思ったから (次の質問へ)

問9 問8-③相談しても無駄と思った理由は何ですか。

問10 <全員> DV防止法及びストーカー規制法を改正するとしたら、それぞれどのような内容になると良いと思いますか。思いつくことを自由にご記入ください。

★最後にあなた自身のことを簡単にお伺いします。

1. あなたの年齢は 10代・20代・30代・40代・50代・それ以上

2. 加害者からの最後の暴力の時期はいつごろですか。

西暦 年 月ころ

3. あなたは公的・民間を問わず、シェルター利用経験がありますか

①ある ②ない

4. ①あると答えた方、その時期はいつごろですか

西暦 年 月ころ

当事者アンケート集計結果

問1	保護命令を申立てたか	%	
申立てた		55	49
申立てなかった		57	50
	不明	1	1
合計		113	100

問2	申立ての結果	%	
全部認容		45	82
全部却下		1	2
裁判所からの取下げ勧告に従った		2	3
自主的に取下げ		1	2
一部認容、一部却下		2	4
	未回答	4	5
合計		55	100

問2-⑤	一部却下・取下げしたのは	%	
接近禁止命令		6	100
退去命令		0	0
合計		6	100

問2-⑤-i	却下・取下げの接近禁止命令	%	
自分		2	34
自分と子		2	33
それ以外		2	33
合計		6	100

問3	保護命令の問題点	%	
暴力の過小評価		5	8
証拠を要求される		9	15
危険性の過小評価		8	13
被害者の落ち度を指摘		4	7
DVに対する無理解		14	23
時間がかかりすぎる		16	27

その他	4	7
合計	60	100

問4	保護命令を申立てない理由	%	
	身体的暴力がない	8	4
	しなくてよいと思った	10	7
	証拠がない	2	11
	やっても無理と言われた	7	14
	相手を刺激したくない	11	18
	配偶者ではなかった	1	21
	その他	1	25
	合計	40	100

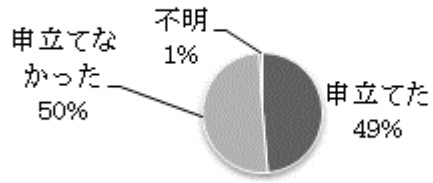
問5	配偶者以外からの暴力	%	
	交際相手	2	17
	親族	3	33
	知人	1	50
	合計	6	100

問6	ストーカーとして相談したか	%	
	相談した	22	39
	相談しない	34	61
	合計	56	100

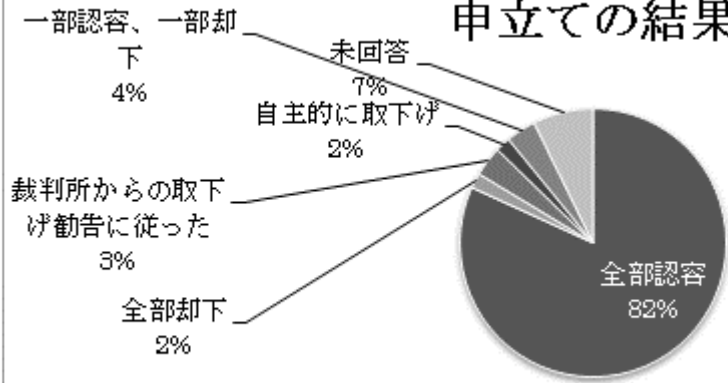
問7	警察の対応	%	
	口頭注意	10	22
	文書警告	3	6
	禁止命令発令	10	22
	パトロール強化	9	19
	他機関紹介	5	11
	特に何もしない	9	20
	合計	46	100

問8	相談しなかった理由	%	
	ストーカーという事を思いつかなかった	19	63
	どこに相談すれば良いかわからなかった	6	20
	相談しても無駄と思った	5	17

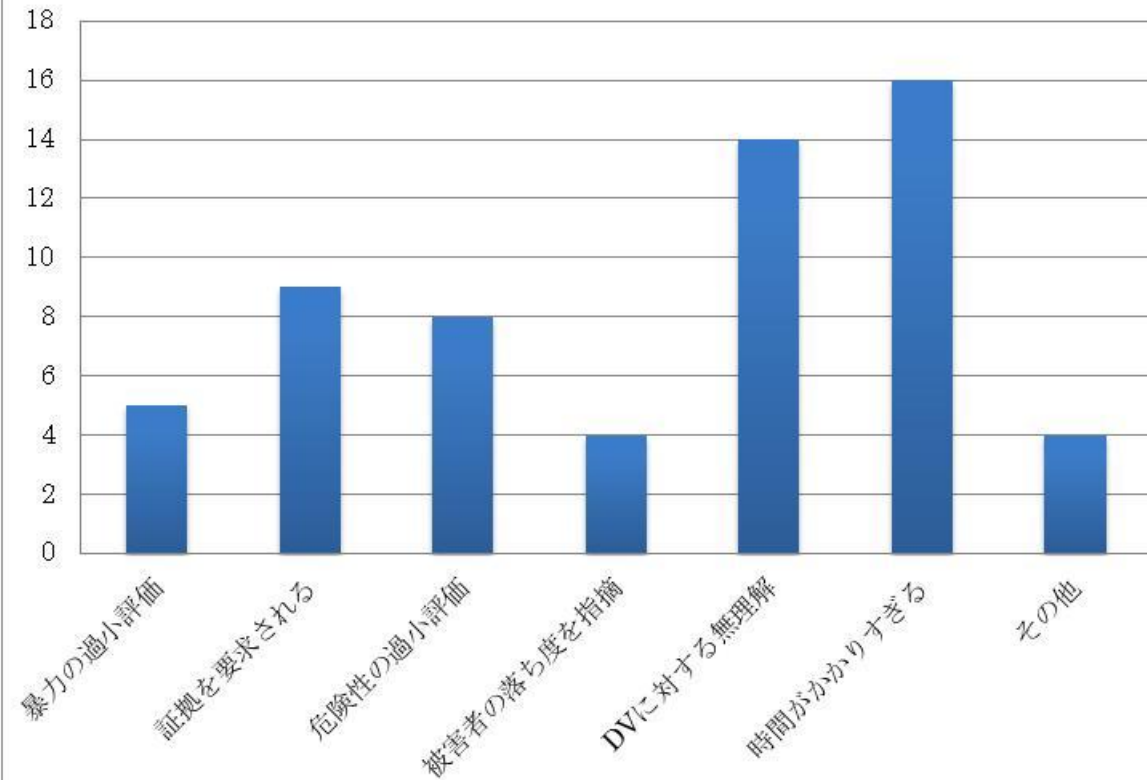
## 保護命令を申立てたか



## 申立ての結果

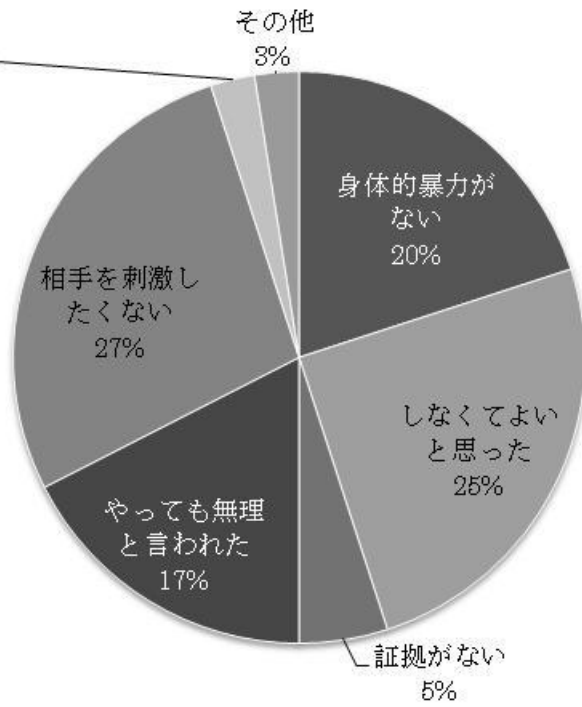


## 保護命令の問題点



## 保護命令を申立てなかった理由

配偶者ではなかった  
3%



その他  
3%

身体的暴力が  
ない  
20%

相手を刺激し  
たくない  
27%

しなくてよい  
と思った  
25%

やっても無理  
と言われた  
17%

証拠がない  
5%